公益社団法人セカンドハンド

2015年度　事業報告

２０１５（平成２７）年度　活動報告

Ⅰ．本部の動き

＜１＞代表理事交代

2015年5月17日のセカンドハンド総会をもって公益社団法人セカンドハンドの代表理事が平野キャサリンから三木誠に交替した。

＜２＞ネットワーク関係

① 四国NGOネットワーク

四国内の国際協力NGOが相互につながりながら市民参加による国際協力活動の広がりを目指すもの。研修会やJICA四国とのラウンドテーブルへ参加した。

【四国NGOネットワーク】
2015年7月11日・12日
総会、NGO研修、ラウンドテーブル
2016年2月6日
ラウンドテーブル

② 日本チャリティーショップネットワーク

全国のチャリティーショップ運営団体が集まり、国内でのさらなる定着を目指して、2015年12月14日に任意団体として発足した。本法人設立者の新田恭子が団体の共同代表に選ばれた。2015年度は英国への視察に新田が参加し、神奈川で行われた設立フォーラムに職員が参加した。ネットワークの一員として、チャリティーショップの認知度を高め、社会的基盤を整える活動、また、運営力の強化を図っていく。

【日本チャリティーショップネットワーク】
2015年6月26日～7月3日　英国視察
2016年1月30日　設立記念フォーラム

＜３＞本部運営委員会の動き

理事を中心としたメンバーで構成する本部運営委員会は、支援先や国内での活動内容の検討をするとともに、組織内の現状を把握し、組織改善のためにどのような取り組みが必要か検討し実行している。2015年度はメーリングリストでの情報共有を中心に行った。誰でも関心があれば運営に参加できる。

２０１５（平成２７）年度　活動報告

＜４＞理事会・総会

定款に定める通常理事会、定時社員総会を開催。2016年1月には、セカンドハンド本部事務局にて２日間の理事会合宿を開催し、次年度に向けて前年度の活動を振り返り、今後の方向性について話し合った。

【理事会】

日程：2015年5月7日
場所：セカンドハンド本部4F
内容：2014（平成26）年度事業報告
決算の件

日程：2016年1月10日
場所：セカンドハンド本部4F
内容：次年度の予算、事業計画の件

【総会】

日程：2015年5月17日
場所：まなびCAN
内容：2014（平成26）年度事業報告
決算、役員改選の件

＜５＞施設改修とリスク管理

法人にとってのリスクを軽減するため、施設改修を行った。株式会社タダノの社会貢献クラブ「タダノハートフルポケット」より、寄付金20万円を頂き、本部ビル内の階段に手すりを設置し、電灯を増設、またすべり止めの修繕も行った。また、ボランティアの保険加入を徹底するとともに、加入を希望されない方には、意思表示をしっかり確認させていただいた。

＜６＞倉庫整理・見直し

春日倉庫、多賀倉庫とも、これまで整理が行き届かず、在庫の把握が困難だった。そこで、ボランティア総出で、二つの倉庫の大掃除を行った。特に多賀倉庫には、田村町倉庫から運んだ荷物もそのままになっており破損した什器などを処分した。併せて、十分に活用されていなかった多賀町倉庫で試験的に大型商品を販売するガレージセールを実施した。

【ガレージセール】

日程：2015年11月14日・15日

２０１５（平成２７）年度　活動報告

Ⅱ．支援活動

１．教育支援

＜１＞中学・高校生の奨学金支援

◆連携団体：マリノール（センソック地域に拠点を置くアメリカのNGO）
◆対象地域：カンボジア・センソック地域（プノンペン市郊外）
◆支援額：約25万円（中学・高校生：8名分）

センソック地域（スラム）に暮らす成績優秀だが経済的に学校に通うことが困難な状況にある生徒を支援した。2015年度（2014年10月～2015年7月）は８名を支援（2名はスカラーペアレント制度で支援、残り6名はセカンドハンド・ユースが支援）し、7月に5名が卒業した。その内の1名は、大学に進学が決まったものの、家庭が貧しいため、進学ができない状況にあったが、本人の希望を尊重し、高校1年生の時から支援をしてもらっていたスカラーペアレントが支援継続を承諾していただき、無事に大学進学が決定した。2016年度（2015年10月～2016年7月）も、合計8名を支援中。

＜２＞大学生の奨学金支援

◆連携団体：マリノール（センソック地域に拠点を置くアメリカのNGO）
◆対象地域：カンボジア・センソック地域（プノンペン市郊外）
◆支援額：約19万円（大学生：2名分）

支援者が学生を一対一で卒業まで支援する制度。今年度は、大学に通う2名の大学生の学費や教科書代、交通費等を支援し、7月に無事に進級した。

奨学生とセカンドハンド・ユースメンバーの交流

２０１５（平成２７）年度　活動報告

＜3＞住民参加による図書館運営事業

◆連携団体：公益社団法人シャンティ国際ボランティア会（SVA）
◆対象地域：カンボジア・バタンバン州、バンテイミンチェイ州、シェムリアップ州
◆支援額：約60万円

子どもが本に触れる機会を増やすため、図書館設置後に持続的に運営できる人材を育成する事業。運営に携わる校長、図書館員等を対象に本の分類、修繕、貸出記録のつけ方、読み聞かせなどの教材制作の研修を実施し、地域住民への啓発活動も行った。本の貸し出し数が増え、地域住民からは募金や本の寄贈などでサポートをしてもらえるようになった。

図書館技術研修会　教材制作

＜4＞学校校舎建設事業

◆連携団体：公益社団法人シャンティ国際ボランティア会（SVA）
◆対象地域：カンボジア・バタンバン州
◆支援額：約600万円

カンボジア東部バタンバン州の約150名が通うチョム・ノブ・コキ小学校は2013年に地域住民がお金を出し合って建設された。校舎は照り付ける日光や大雨をしのぐ「小屋」程度で、政府に新校舎の要請を出していたものの回答が得られないままだった。子ども達がより安全で勉強に集中できる新校舎の建設を支援し、2016年8月に完成予定。

＜5＞コミュニティースクール事業

◆連携団体：特定非営利活動法人TICO
◆対象地域：ザンビア
◆支援額：約180万円

ムエンバ・プライマリースクールとカムロブエ・コミュニティースクールの2校舎の修繕を支援した。支援対象の2校舎は窓やドアが無く、屋根に穴が開いていたり、床のセメントが剥がれ土埃が舞うなど、勉強に集中できる環境ではなかった。12月にムエンバ・プライマリースクールが完成し、カムロブエ・コミュニティースクールは2016年秋頃に完成予

ムエンバ・プライマリースクールの生徒

２０１５（平成２７）年度　活動報告

定。生徒の保護者から「雨期には校舎が崩れるのではないかと常に不安だったが、今は安心して通わせることができる」という喜びの声があがった。

2．自立支援

＜1＞女性の自立支援事業

◆連携団体：ラチャナハンディクラフトバタンバン（現地NGO）
◆対象地域：カンボジア・バタンバン州、スヴァイリエン州

貧しい生活を強いられている女性たちの経済的自立をめざし、ラチャナハンディクラフトへの運営アドバイスを引き続き行った。2013年度から高松市にある保育園からの委託で保育園制服の製作依頼も行っている。

＜2＞フェアトレード事業

◆連携団体：ラチャナハンディクラフトバタンバン（現地NGO）、有限会社ARTISAN
◆対象地域：カンボジア・バタンバン州、スヴァイリエン州

現地の女性たちが製作した商品を適正な価格で購入し日本で販売するフェアトレード商品の普及を図った。

店舗、バザーなどで販売

3．医療支援

＜1＞救急医療における人材育成を通した国際協力事業

※本事業は高松市と連携して実施するJICA草の根技術協力事業。2014年2月～2017年2月実施予定

◆連携団体：JICA、高松市、NPO法人TICO、カンボジア保健省、プノンペン市西部保健局、スヴァイリエン州保健局
◆対象地域：プノンペン市、スヴァイリエン州
◆支援額：約500万円

2003年から医療支援をはじめ、2007年からはTICOと連携して首都プノンペン市での救急医療支援に着手した。その経験を活かし、近年工場誘致やアジアンハイウェイの整備で急速に発展するスヴァイリエン州で救急医療に関する技術支援を実施

【専門家派遣】
2016年2月13日～16日
TICO渡部医師
2016年2月8日～17日
高松市消防局2名、TICO渡部医師、大久保医師

【来日研修】
2015年5月5日～5月19日
スヴァイリエン州、プノンペン市医師ら4名

２０１５（平成２７）年度　活動報告

している。

2015年度は、5月にスヴァイリエン州とプノンペン市の医師ら4名を日本に招いて研修を行った。研修員らは、帰国後、日本で学んだ事を実践し、職員や地域住民に共有している。2016年2月には、医療専門家および高松市消防の救急隊員の派遣し、救急救命に携わる医師を対象に、指導者となりうるかどうかのテストを実施した。日本の医師でも20人に１人くらいしか合格しないといわれる難易度の高い試験であったが、2013年に来日した1名が高得点で合格した。彼をはじめ、合格点には至らなかったけれども、得点のよかった医師、看護師の中から4名を対象に、2016年５月末から約2週間かけ、「指導者を育てるための研修」と位置付けて来日研修を実施する。

高松市消防局での研修の様子

４．孤児院支援事業

◆連携団体：ホームランド孤児院（現地NGO）

◆対象地域：バタンバン州

◆支援額：約63万円

路上で暮らす子どもや人身売買の被害に遭った子どもたちを保護し、親がいる子は親元に戻れるよう、また子どもたちが自立できるように取り組んでいるホームランドとの交流・支援を20年近く続けている。2015年度は、49名の子ども達がホームランドに居住。フォスターペアレント制度（2015年度のフォスターペアレントは21名）を設けて継続した資金援助を行っているが、このような継続的支援はセカンドハンドのみであり、近年はホームランドが運営資金の確保も困難になって、より多くの支援が必要とされている。

５．現地派遣

支援先のカンボジアに職員を置かず、現地団体と連携し支援活動を行うスタイルを取っている。成果の確認、事業の進行状況の把握・調整のため、必要に応じて支援先の視察・訪問を行った。特に学校建設や孤児院支援、病院支援などについて、現場での支援ニーズを確認するため、職員をカンボジアに派遣した。セカンドハンド・ユースのメンバーも、これに同行し、カンボジアの置かれている状況を理解してもらった。

【現地派遣】

カンボジア支援事業

2015年10月29日～11月3日

（川内）

2016年2月8日～17日

（新田）

２０１５（平成２７）年度　活動報告

Ⅲ．ファンドレイジング・啓発活動

１．チャリティーショップ

チャリティーショップは、活動の支援金を集めるだけでなく、ボランティアとしての参加、品物の提供、お買い物など、「社会に対して何かしたい」と思う人にとって様々な関わり方ができる場である。また、地域の人々が活躍できる場、気軽に国際協力の情報にアクセスできる場など、さまざまな役割を担っており、いつでも、誰もが気軽に立ち寄れる国際協力の玄関口として市民に確実に根付いている。

＜１＞高松店

ボランティアスタッフと協力し、商品の循環システムの変更やディスプレイ・展示の工夫を行った為、売上が過去3年間の平均と比べ、全体で1.5倍になった。来店者から「常に新しいものが置いてある」との声を頂いた。

＜２＞片原町店

5回のフェアを開催し、商品の入替を行った。また、3年ぶりのレイアウト変更も行った。2016年2月からは隣のスペース（けやき市場）でのセールを行い、新規顧客の獲得、収入増加に繋げる事ができた。

＜３＞丸亀店

1997年に商店街でスタートし、2011年からパワーシティー丸亀に拠点を置いていたが、2016年2月に家主側の都合で閉店した。閉店時には、お客様より「ここが唯一の楽しみだった」「すばらしい活動なのに閉店は残念」と閉店を惜しまれる言葉を多く頂いた。

【高松店開催（主催）・出店イベント】

2015年5月23日
フェアトレードまつりinかがわ
2015年5月9日
世界フェアトレードデーなごや2015
2015年7月5日
YOU倶楽部真夏の祭典 「世界のこどもに愛の手を」愛と絆チャリティーパーティー
2015年9月27日
オイスカふるさと祭り@オイスカ四国研修センター
2015年10月21日
かがわ国際フェスタ出店@アイパル香川
2015年11月23日
みんなの文化祭@高松市瓦町市民活動センター
2015年11月3日～17日
チャリティーバザー@4町パティオ広場
2016年1月3日
初詣チャリティーバザー@四国霊場第66番札所雲辺寺
2016年3月27日～4月3日
チャリティーバザー@4町パティオ広場

【片原町店開催イベント

2015年4月1日～15日　新生活フェア
2015年5月1日～15日
和フェア～Japanese Souvenir Fair～
2015年5月20日～30日　手芸フェア
2015年7月1日～31日　夏フェア
2015年11月1日～30日　レトロフェア
2016年1月4日～1月12日
新春！お年玉大抽選会！
2016年2月13日～15日、20日～22日、3月12日～14日
チャリティーセール@けやき市場

【丸亀店開催（主催）・出店イベント】

2015年5月3日・4日
丸亀お城まつり@丸亀城

２０１５（平成２７）年度　活動報告

＜４＞ボランティアスタッフ

8回のスタッフミーティングを行い、商品の入れ替えやお客様対応などのチャリティーショップに関する情報共有、意見交換をおこなった。また、9月13日にボランティアスタッフとNPO法人太陽と緑の会の見学ツアーを実施した。同じように無償で提供されたリユース商品を販売し活動をしている団体をボランティアスタッフと共に見学することで、団体の運営方法、運搬・仕分け・ディスプレイ方法を共に振り返ることができ、良い意見交換の機会となった。

２．チャリティーイベント開催

＜１＞チャリティーパーティー

支援者同士の交流の場として楽しみながらチャリティーにつながるチャリティーパーティーを企画し開催した。

＜２＞チャリティーカルチャー教室

参加者が興味のあることを学びながら国際協力活動に参加でき、ボランティアの講師が得意分野を活かして国際協力に貢献できるチャリティーカルチャー教室を開催した。参加費の収益がチャリティーになる取り組み。今年度は2回開催。

【ボランティアスタッフとのミーティング、研修、交流会】

2015年4月11日　スタッフミーティング
2015年5月15日　スタッフミーティング
2015年6月16日　スタッフミーティング
2015年8月4日　スタッフミーティング
2015年9月13日
NPO法人太陽と緑の会見学ツアー
2015年9月29日　スタッフミーティング
2015年11月19日　スタッフミーティング
2015年12月19日
ボランティアスタッフ親睦会
2016年1月26日　スタッフミーティング
2016年2月24日　スタッフミーティング

太陽と緑の会見学ツアーの様子

【チャリティーパーティー】

2015年7月25日　チャリティービアパーティー

【チャリティーカルチャー教室】

2015年5月24日
はぎれdeコースター作り
@セカンドハンド片原町店
2015年8月1日・8日
ゆかたを1人で着てみよう！
@セカンドハンド本部4階

２０１５（平成２７）年度　活動報告

３．人材育成

＜１＞セカンドハンド・ユースのサポート

香川県内で活動する学生たちに、活動の場の提供や活動のサポート等を行っている。社会を良くするために何かしたいと思う若者たちが、思いを実現し、学びながら実践する場となっている。イベントの企画運営、団体運営等について適宜アドバイスをした。

＜２＞ボランティア体験・インターン受入

学校や団体などからの要請を受け、小～大学生の学生や社会人等のボランティア体験、インターンの受入を行った。国際協力、ボランティア活動、職場体験など様々な学習テーマに合わせたプログラムを作成し対応した。募金活動、チャリティーショップでの作業、イベント企画など様々な国際協力に繋がる活動を体験し、学ぶ機会となっている。

４．講演・講座

＜１＞主催講演会・講座

講演会・講座を一般公開で開催した。

＜２＞講師派遣

ボランティア、国際協力、チャリティーショップなど依頼に応じた講師を、各地に派遣した。

＜３＞香川大学「国際協力論」

香川大学、JICA四国と連携し、授業の一環として実施する計15回の連続講義で、この中でコーディネーター役として講義内容企画や講師の手配を行った。国際協力を幅広く捉え理解を深められる内容となるよう、国連機関、NGOから講師を招き実施した。

【ボランティア体験・インターン受入れ】

2015年7月5日　山田中学校（32名）
2015年7月25日　高校生カレッジ（21名）
2015年7月29日～31日　三木高校（8名）
2015年9月17日　玉藻中学校（35名）
2015年10月6日～8日
勝賀中学校（延べ13名）
2015年10月14日　三木中学校（26名）
2016年3月18日　協和中学校（32名）

【主催講演会・講座】

2015年5月17日
JICA草の根研修員　研修終了報告会
@生涯学習センター「まなびCAN」
2015年11月18日
TICOザンビアコミュニティースクール事業報告会
@セカンドハンド本部4階
2015年12月26日
国際理解イベント　カンボジアを丸ごと楽しもう！
@アイパル香川

【講師派遣】

2015年4月24日
香川大学国際協力論（新田）
2015年4月27日　仏生山小学校（新田）
2015年5月11日　和カフェぐぅ（新田）
2015年5月15日
NPO法人岡山NPOセンター（新田）
2015年6月19日　香川大学医学部（川内）
2015年7月9日　高松大学（渋谷）
2015年7月20日　徳島大学（新田）
2015年7月25日　高校生カレッジ（川内）
2015年8月8日　真行寺（川内）
2015年10月21日　国際フェスタ（川内）
2015年11月29日　志度小学校（平野）
2015年12月20日
徳島大学国際協力論（新田）
2016年2月6日　賀川豊彦記念館（新田）

２０１５（平成２７）年度　活動報告

５．広報活動

＜１＞セカンドハンド通信

年4回（毎回5,500部）発行し、支援状況や活動状況などを支援者にお知らせしている。事務局職員およびボランティアで構成された編集委員会が取材、執筆、編集を行い約1ヶ月半かけて作成し、ボランティアによる折り込みなどの発送作業を経て、支援者に届けられている。

＜２＞ウェブサイト・ボランティア募集ポスターのリニューアル

穴吹デザインカレッジグラフィックデザイン科の協力を得て、ウェブサイトとボランティア募集ポスターのリニューアルを行った。ウェブサイトは学生達が授業の実習として協力して取り組み、2016年1月1日より公開した。ボランティア募集ポスターは学生を対象にコンペを実施し、一般投票を行い5つの優秀作品の中から最優秀作品と特別賞を決定した。

＜３＞報道関係

① 新聞、雑誌

2015年4月3日　読売新聞　チャリティーカルチャー教室
2015年5月18日　毎日新聞　総会＆カンボジア医師報告会
2015年5月20日　朝日新聞　草の根技術協力事業
2015年5月23日　リビング高松　フェアトレードまつりinかがわ2015
2015年5月28日　読売新聞　フェアトレードまつりinかがわ2015
2015年7月31日　リビング高松　チャリティーカルチャー教室
2015年11月7日　リビング高松　チャリティーガレージセール

② テレビ、ラジオ

2015年9月9日　RNC西日本放送　きままにラジオ
2015年9月15日　RNC西日本放送　台風被害被災者支援募金
2016年1月13日　RNC西日本放送　きままにラジオ

６．視察・調査受入

市民団体などから要請があり、調査を受け入れた。

【セカンドハンド通信発行】

No.80　発行：2015年4月20日
【特集】フェアトレード～お買い物で世界を変える!?～

No.81　発行：2015年6月22日
【特集】理事長交代スペシャル座談会

No.82　発行：2015年10月13日
【特集】チャリティーショップを広げるために

No.83　発行：2016年1月1日
【特集】僕らが見たたくさんの笑顔in Cambodia

【ボランティア募集ポスター】

最優秀作品（東原諄実さん）

特別賞（野﨑咲良さん）

【視察・調査受入】

2015年6月5日・6日
特定非営利活動法人WE21ジャパン厚木

２０１５（平成２７）年度　活動報告

Ⅳ.セカンドハンドのネットワーク団体による活動

チャリティーショップ活動やフリーマーケット出店での収益金を寄付、講演会開催、会計面、様々な形で公益社団法人セカンドハンドをサポートする団体。

１.セカンドハンド大阪

（法人会計のサポート）

事務局への経理面でのアドバイス、決算書や申告書の作成などを行った。

２.セカンドハンド関東

（フリーマーケット出店の収益金寄付などを通じてサポート）

2016年1月に横浜で開催された「日本チャリティーショップネットワーク設立記念フォーラム」に出席。それ以外は主だった活動を行うことができなかった。同1月にミーティングを持ち、現在の課題や今後の目標について話し合った。事務所等も無い中で、定期的なイベント参加・出展のルーティンも生まれていない点や、（同ミーティングに出席したのも、いつもメールで返信がある4人のみという状況で）活動を行おうとするボランティアの数が少ない点も課題。今年度は、フリーマーケットに参加してみる等、活動を一歩ずつ進めていき、その中で、セカンドハンド関東に合った活動内容・方法の検討や、ボランティアの勧誘等を行っていきたい。

３.セカンドハンド京都

（フリーマーケット出店の収益金寄付などを通じてサポート）

今年度の出展はあじさいバザールとkokokaオープンデイ2015の2回。2016年度からはセカンドハンド京都の活動をしばらくの間休止することとなった。関西にも支援の輪を広げるべく活動を続けてきたので、また機会ができたら活動を開始したい。

【セカンドハンド京都出店・出店イベント】

2015年6月6日

あじさいバザール@京都YWCA

2015年11月3日

kokokaオープンデイ2015@京都市国際交流会館

２０１５（平成２７）年度　活動報告

４.セカンドハンド福岡

（チャリティーショップ活動を通じてサポート）

2015年度の主な活動は毎週月曜日のチャリティーショップ運営と恒例となっている草ヶ江幼稚園のバザー出店。スタッフの知人・友人、福岡店のご近所の方々から提供品をいただき活動が出来た。常連客とスタッフの高齢化、健康上の不安、家族の介護負担のため等で2016年4月末をもってセカンドハンド福岡店を閉店することとなった。

５.セカンドハンド北海道

（フリーマーケット出店の収益金寄付などを通じてサポート）

2015度はイベント出店などの活動が行えなかったが、2016年度からは年に1回、2回ペースでも活動再開につなげていきたい。

６.セカンドハンド・ユース

（中高生、大学生が主体となり、募金活動やイベントなどを開催し、国際協力活動を行う）

今年度は新メンバーが増え13人になった。月1回、定期街頭募金活動を行う等、活動が活発になり、2015年度は合計243,933円を集め、貧困で学校に通えない学生6名の奨学金支援を行った。ユースのメンバーのうち2名がカンボジア視察渡航に同行し、奨学金支援をしている奨学生らと交流した。また、11月に行った国際交流イベントではカンボジアの奨学生らとスカイプ通話を行い、会場に居る参加者らと現地とを繋いだ。また、定期的に行う街頭募金の中で、緊急支援としてネパール地震被災地支援募金、茨城県大雨災害による被災地支援募金、台湾南部地震支援募金などを行った。

【セカンドハンド福岡店開催、出店イベント】

2015年11月3日
フリーマーケット出店@草ヶ江幼稚園

【ユース活動状況】

2015年5月23日
街頭募金活動（ネパール被災地支援）
2015年5月23日
フェアトレードまつりin香川　バザー出店
2015年6月20日　街頭募金活動
2015年7月8日　山田中学校受け入れ
2015年7月19日、25日
高校生カレッジ受け入れ
2015年7月31日　三木高校受け入れ
2015年9月17日
玉藻中学校受け入れ（茨城県被災地支援）
2015年10月6日　勝賀中学校受け入れ
2015年10月12日
国際フェスタ　バザー出店
2015年10月17日　街頭募金活動
2015年10月29日～11月3日
カンボジア視察渡航同行
2015年11月21日
国際協力イベント　ここからはじまる「和」
2015年11月23日
まちづくり文化祭　30秒プレゼン(原)
2015年12月13日　街頭募金活動
2016年1月16日　街頭募金活動
2016年2月20日
街頭募金活動（台湾南部地震被災地支援）
2016年3月8日　協和中学校受け入れ
2016年3月14日　街頭募金活動
2016年3月29日
コーヒー販売@4町パティオ